

平成16年3月17日
総務局

「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」 (町丁別・年齢別)－平成16年1月－概要

住民基本台帳に記載されている、都内の世帯数と町丁別及び年齢別の人口を、平成16年1月1日現在で取りまとめました。

《平成16年の主な特徴》

1 東京都の住民基本台帳上の人口 1200万人を超え、過去最高を更新

東京都の住民基本台帳による人口（以下「人口」という。）は12,074,598人で前年より78,387人（0.65%）増え、1200万人を超え、過去最高となった。

地域別にみると、区部の人口は8年連続して増加し、市部の人口も調査開始（昭和32年）以来、増加を続けている。それに対して町村部の人口は8年連続して減少した。

（公表概要2～3ページ）

2 子供と働き手 3年連続で増加

① 年少人口、前年を2,783人（0.19%）上回る

年少人口（0～14歳）は1,435,292人で、前年を2,783人（0.19%）上回った。昭和51年以降減少が続いていたが、平成14年から増加に転じ、3年連続で増加となったものの、前年の増加数4,661（0.33%）人を下回った。

（公表概要8～9ページ）

② 生産年齢人口、前年を16,466人（0.19%）上回る

生産年齢人口（15～64歳）は8,523,570人で、前年を16,466人（0.19%）上回り、3年連続で増加し、前年の増加数6,937人（0.08%）を上回った。

（公表概要8～9ページ）

年少人口指数（年少人口÷生産年齢人口×100）は5年連続で16.8となり、子供1人に対し働き手6人の割合となっている。

（公表概要12ページ）

3 老年人口 17.5%で5.7人に1人は65歳以上

老年人口（65歳以上）は2,115,728人で、前年を59,139人（2.88%）上回った。調査開始（昭和32年）以来一貫して増加しており、人口総数に占める割合は17.5%となり、5.7人に1人は65歳以上となっている。

（公表概要8～9ページ）

なお、特集「少子化や高齢化の進行に変化が生じた区市町村の特性」について、掲載しています。
（公表概要14～23ページ）

問い合わせ先

総務局統計部人口統計課人口動態統計係
電話：03-5388-2531(ダイヤルイン)